

序論)

さて、今回は【主】の御業を見ず、【主】の御言葉を聞こうとしなかったイスラエルに対して「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」と【主】が言われ、神の民を東西南北から集められるという預言をみました。

今日の箇所はその続きです。「わたしの目には、あなたは高価で尊い」といわれ、イスラエルに対してご自身の愛を伝えられた【主】は、続けてなんといられているのでしょうか。

1) 盲目な神の民に証言をさせようとする神様

43:8 目があっても見えない民、耳があっても聞こえない者たちを連れ出せ。

43:9 すべての国々をともに集わせ、諸国の民を集めよ。彼らのうちのだれが、われわれにこのことを告げ、初めのことを聞かせることができるだろうか。彼らが自分たちの証人を出して証言し、人々がそれを聞いて、『本当だ』と言うようにせよ。

神様はご自分の民イスラエルに証言をさせようとしておられます。

「目があっても見えない民、耳があっても聞こえない者たち」というのは当時のイスラエル人のことだったと前回お話ししました。その霊的盲目なイスラエル人に愛を伝えられた【主】は、彼らを証人として法廷に立たせ、諸国の民たちに対して神様のことを証言させ、それを聞いた人々が彼らの言っていることは『本当だ』だと納得するようにせよ。と命じられているのです。

みなさんだったらどうでしょうか？ 目の見えない人、耳の聞こえない人をわざわざ証人として立てて法廷の場で証言させようとするのですか？ 普通はしないですね。

でも、神様はあえて霊的に盲目で、神様の声が聞こえない神の民を証人としてお立てになるのです。

2) 証人にする理由

なぜでしょうか。それは霊的な盲目である彼らが神様のことを悟るためです。【主】は 10 節でこのように言われています。

43:10a あなたがたはわたしの証人、——【主】のことば——わたしが選んだわたしのしもべである。これは、あなたがたが知って、わたしを信じ、わたしがその者であることを悟るためだ。

神様は不思議なお方です。霊的に盲目で神様のことをわかっていないはずのイスラエルの民を証人として立たせ、それによって彼らが神様を信じ、神様のことをよく悟ることができるようにされるのです。

みなさん、それは私達に対しても同じです。神様は私達にも神様のことを証しするように求めておられます。でも、もし私がみなさんに「じゃあ、会社の人たちや学校の友達の前で神様のことを証言してきてください」といったら皆さんはどうなさるでしょうか。「いや、私は牧師先生みたいに聖書のことを専門的に勉強しているわけじゃないし、上手に話せないからできませんよ。」って言われる方が多いのではないのでしょうか。でも、神様はそんな皆さんにあえて神様のことを証言させることによって、皆さん自身が【主】を信じ、【主】を悟るようにされるのです。

3) 証言するべきこと

では、何を証言するべきなのでしょう。神様は 10 節の後半から 13 節にかけてこのように言われています。

43:10b わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にも、それはいない。

43:11 わたし、このわたしが【主】であり、ほかに救い主はいない。

43:12 このわたしが、告げ、救い、聞かせたのだ。あなたがたのうちに、異なる神はいなかった。だから、あなたがたはわたしの証人。——【主】のことば——わたしが神だ。

43:13 これから後もわたしは神だ。わたしの手から救い出せる者はない。わたしが事を行えば、だれがそれを戻せるだろうか。」

みなさん神様は何を証言せよと言われてますか？

そう、この「聖書の神様、【主】なる神様こそ、唯一絶対の神様だ。」

ということです。神様は、イスラエルにこのことを証言させるために、まず神様ご自身が、「わたしこそが唯一の神である」と宣言されています。

少し丁寧にみことばを見ていきましょう。まずは 10 節

43:10b わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にも、それはいない。

当時、イスラエル以外は多神教で、神と呼ばれる存在はバアルやアシェラ、モレクなど色々いると言われていました。でも、この聖書の神様だけが、「自分だけが神であって、後にも先にも自分以外の神などいない」と明確に宣言しています。

みなさん、今は多様性の時代といわれ、「唯一絶対などない。」と言われる時代です。だから、性についても「LGBTQ」と言われるようになっており、「レズ、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー・・・トランスジェンダーというのは性転換者ということですね・・・そして、クエスチョン つまり、性について固定されたものはない」と言われるようになっており、性別のあり方を定めるのは良くないと言われてしています。

そのような時代に聖書の神様こそが唯一絶対の神様だと証言することは勇気がいることかもしれません。でも、神様は「わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にも、それはいない。」と言われるのです。そして、その唯一絶対の神様は 11 節

43:11 わたし、このわたしが【主】であり、ほかに救い主はいない。

つまり、唯一の神様こそ、唯一の救い主だと言われてしています。

私達は聖書の神様が唯一の神様であることと同時に、この方にしか救いがないことを証言しなければいけないのです。

なぜでしょうか。 12 節

43:12 このわたしが、告げ、救い、聞かせたのだ。あなたがたのうちに、異なる神はいなかった。だから、あなたがたはわたしの証人。——【主】のことば——わたしが神だ。

これはイスラエルのことですね。すでに何度もみてきていることですが、神様は、ご自身の存在をアブラハムやモーセに告げ知らせ、イスラエルをエジプトから救い、神様のみことばを、預言者たちを通して聞かせ続けてこられました。

そして、そのようにしてイスラエルの神として、彼らとずっと共に歩まれた神様は、この【主】なる神様の他はいなかったのです。

イスラエル自身は、偶像のバアルを拝んだり、アシェラを拝んだり、モレクを拝んだりしていたことがありました。でも、本当にイスラエルを救い、みことばを聞かせて導いたのは【主】なる神様だけだったのです。

イスラエルはそのように神様が共にいてくださるといふ恩恵をずっと受けていました。だから、神様は彼らに対して「あなたがたはわたしの証人」といわれているのです。

私達も同じですね。神様は私達のこと、【主】イエスキリストによって救い、聖書を通してご自身のことを告げられ、そして、みことばを日々聞かせてくださっています。だから、私達は【主】の証人なのです。

そして、このようにして【主】に救い出されたという特別な神様との関係は、決して変わることはありません。13節

43:13 これから後もわたしは神だ。わたしの手から救い出せる者はない。わたしが事を行えば、だれがそれを戻せるだろうか。」

「わたしの手から救い出せる者はない」という箇所は「わたしの手から取り戻せる者はない」とも訳すことができます。神様はイスラエルを贖い、敵の手から買い戻してくださいました。その神様の御手から神の民を奪い取ることは、どんな偶像にもできないことなのです。

神様に救い出された者は、ずっと神の民であり、神様はそのようにして救い出したものをご自分のものとして保ち続けてくださるお方なのです。

4) 救ってくださる【主】

だからこそ、【主】はイスラエルに対してバビロンからの救いを宣言されます。14節、15節

43:14 あなたがたを贖う、イスラエルの聖なる方、【主】はこう言われる。「あなたがたのために、わたしはバビロンに使いを送り、彼らをことごとく逃亡者として下らせる。カルデア人を彼らの喜びの船で。

43:15 わたしは【主】、あなたがたの聖なる者、イスラエルの創造者、あなたがたの王である。」

バビロン捕囚からの解放についてはすでに何回もお話しているので改めて説明する必要はないでしょう。でも、そのようにして神の民を救い出される【主】は、他と同一にはいけない聖なるお方であり、創造主であり、私達が従うべき王なるお方なのです。

過去において神様はイスラエルをエジプトから救い出されました。でも、神様の救いは過去だけのことではありません。だから、神様は 16-18 節のように言われます。

43:16 海の中に道を、激しく流れる水の中に通り道を設け、

43:17 戦車と馬、強力な軍勢を引き出した【主】はこう言われる。「彼らはみな倒れて起き上がれず、灯芯のように消え失せる。

43:18 先のこと心に心を留めるな。昔のこと目に目を留めるな。

16, 17 節の「海の中に道を、激しく流れる水の中に通り道を設け、戦車と馬、強力な軍勢を引き出した」というのは、神様がイスラエルをエジプトから救い出すために海を割って道を作り、その割った海によってエジプトの戦車や軍勢を打倒されたことを指しています。そのような出エジプトの救いをなされた神様ご自身が言われています。

43:18 先のこと心に心を留めるな。昔のこと目に目を留めるな。

これはつまり、過去の救いではなくってこれからの救いを見よ。ということです。聖書の歴史をみると確かに神様は過去において出エジプトという大きな救いの御業をなさいました。そして、このイザヤ書が書かれた当時のイスラエル人にとっては未来の出来事かもしれませんが、バビロンからの解放も私達にとっては過去の出来事です。でも、神様はその過去の救いよりもっと素晴らしい救いの御業をなされるから、過去の救いばかりに目を留めるなといわれています。

では、そのもっと素晴らしい救いとはなんでしょうか。それが 19-20 節です。

43:19 見よ、わたしは新しいことを行ふ。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。

43:20 野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。わたしが荒野に水を、荒れ地に川を流れさせ、わたしの民、わたしの選んだ者に飲ませるからだ。

みなさん、神様はどんな救いをなさるのですか？

荒野に道を、荒れ地に川を設け、その水を、神様が選んだ神の民に飲ませる。

という救いをなさいます。これはイスラエルをバビロンから解放するというものではありません。これはそれよりももっと素晴らしいことです。

20 節に「野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる」とあるように、汚れた動物といわれるようなものさえも、神様を賛美せずにはいられない出来事です。

それこそが、【主】イエスキリストによる魂の救いであり、やがて【主】が私達に新しい天と新しい地を与え、わたしたちにいのちの水を飲ませてくださる出来事です。イエス様は言われました。

ヨハネの福音書 4:14

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことはありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」

イエス様は私達に渇くことのない永遠のいのちの水をくださいます。

また、ヨハネの黙示録にはこのように書かれています。

ヨハネの黙示録

21:5 すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。「書きしるせ。これらのことばは、信ずべきものであり、真実である。」

21:6 また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。

これはまさに神様が新しい天と新しい地をご自分の民に与えて言われているみことばですね。【主】は永遠のいのちの水を私達に与え、私達を永遠に神の民としてくださる。そのような究極的な救いを与えてくださるお方なのです。

イザヤ書が書かれていた当時、イスラエルの人たちは自分たちがエジプトから救い出された選びの民であるということを誇りに思っていました。不思議ですね。神

様のことを見ようともせず、神様のみことばを聞こうともしていなかったのに、自分たちが神様に選ばれた民だという選民思想だけは強くもっていたのです。

そして、現代のユダヤ人たちも同じような思いを持ち、出エジプトだけでなく、バビロンから解放されたという出来事も彼らの誇りとしています。

でも、本当に大切なのは出エジプトでも、バビロンからの解放でもないのです。本当に大切なのはその後の救い。【主】イエスキリストによる永遠の救いなのです。だから、【主】は「**43:18** 先のことに心を留めるな。昔のことに目を留めるな。」といわれて、キリストによる新しい救いのことを預言されました。

まとめ)

みなさん、出エジプトを経験し、これからバビロンからの解放を経験する当時のイスラエル人たちが【主】の証人として立てられたのだとしたら、その救いよりもっと素晴らしいイエスキリストによる救いを経験し、永遠のいのちの水が与えられた私達は何者でしょうか。【主】は21節のように言われています。

(2回読み上げる)

43:21 わたしのためにわたしが形造ったこの民は、わたしの栄誉を宣べ伝える。

みなさん、【主】に救われ、【主】に新しく形造られた私達は【主】の栄誉を宣べ伝える者です。ある意味では当時のイスラエルの人たちよりももっともっと、【主】の栄光を宣べ伝え、【主】の証人として証しし続けていくべきものなのです。

私達も元々は霊的な盲目でした。でも、【主】は私達を愛し、イエスキリストによって救い出し、神の民としてくださいました。そして、私達を【主】の証人としておられます。そうであるのならば、この多様性を謳う時代にあっても勇気をもって【主】を証ししましょう。

【主】こそ、唯一絶対の神様です。

この方の他に神はいません。過去においても、未来においてもこの方だけが神様なのです。

そして、**【主】だけが唯一の救い主なるお方です。**

このお方による救い以外、私達を本当の意味で救い出すことが出来るお方は他にいません。

【主】はそのことの証明としてイスラエルをエジプトから救い出し、また、バビロンから救い出されました。

しかし、本当に大切な救いはイエスキリストによる救いです。

キリストによって永遠のいのちの水が与えられることこそが本当の救いであり、私達が目を留めるべきことなのです。

だから、キリストの救いを大胆に証ししましょう。この時代の人たちは唯一絶対などないと否定するかもしれませんが。それでも、このお方を証しするとき、私達の信仰は深まり、私達をもっと【主】のことを悟ることができるのではないのでしょうか。最後に 10 節を読みたいと思います。

43:10 あなたがたはわたしの証人、——【主】のことば——わたしが選んだわたしのしもべである。これは、あなたがたが知って、わたしを信じ、わたしがその者であることを悟るためだ。

【主】を証ししながら、もっともっと【主】を信じ、【主】を悟る者となっていきましょう。